

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C K グ ル ー プ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 崎 秀 則
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 番 号 2 4 9 8)
 問 合 せ 先 取 締 役 統 括 本 部 長 森 田 信 彦
 T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 全庁的な施設管理を推進する「統合型データベース」と 「維持管理業務支援ツール」を構築

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、焼津市、国立大学法人名古屋工業大学と共同で、平成 26 年度に統合型公共施設データベース（以下「統合型データベース」という。）を開発し、焼津市所有のほぼ全ての公共施設の基本データを整理いたしました。平成 27 年度には、「統合型データベース」を対象に、将来のまちづくりと公共施設等の管理、国土強靱化を戦略的に推進するツールとすべく、さらなる研究開発とシステムの機能強化を進めてまいりました。さらに、住民サービスの向上や橋梁点検の義務化対応等により業務量がますます増加する道路インフラの維持管理業務を対象に新たに支援ツール（以下「維持管理業務支援ツール」という。）を開発し、導入に向けた研究を進めてまいりました。

「統合型データベース」は、固定資産台帳の整備、施設の点検・診断や公共施設白書の更新を効率化し、施設再編計画など行政機能の強化に役立つものです。

また、「維持管理業務支援ツール」は、道路修繕における要望・対応の情報共有化や、現地確認作業、事務処理を効率化するなど業務改善に資するものです。将来的に「統合型データベース」と「維持管理業務支援ツール」の両システム間でデータを連携させることにより、自治体における全庁的な施設管理を推進するための基盤となり得るものです。

今後、「統合型データベース」、「維持管理業務支援ツール」を焼津市役所関係部署で試行運用して頂き、本格運用に向けた準備を進める予定です。



図 「統合型データベース」の概要

図 「維持管理業務支援ツールの概要」

※1 道路ストック：トンネル・橋梁・道路附属物、法面・盛土、擁壁等
 ※2 点検義務化：道路法の改正により、H26年から5年に1度の点検が義務化

【共同研究に関する記者発表】



左：野崎秀則 (株)オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長／右：中野弘道 焼津市長

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL:03-6311-7551 FAX:03-6311-8011
URL:<http://www.oriconsul.com/>
統括本部 藪内、伊藤